

## 株主メモ

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
**定時株主総会** 毎年6月  
**上記基準日** 定時株主総会については3月31日  
 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。  
**剰余金の配当受領株主確定日** 期末配当金については3月31日  
 中間配当金については9月30日  
 (当期は中間配当を実施しておりません。)  
**単元株式数** 100株  
**公告掲載新聞** 日本経済新聞  
**株主名簿管理人** 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社  
**同事務取扱場所** 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
**同連絡先** 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
**(郵便物送付先)**  
**電話照会先** 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)  
**同取次所** 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
 野村證券株式会社 全国本支店  
**証券・銘柄コード** 7458

### <お知らせ>

- 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求に必要な各用紙、及び株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。
- 配当金を郵便貯金口座へお振込みすることができるようになりました。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので株主名簿管理人に指定書用紙をご請求ください。
- 当社は、貸借対照表及び損益計算書並びに連結貸借対照表及び連結損益計算書を当社ホームページ (<http://www.dkkaraoke.co.jp>) に掲載しております。

### ●株主優待のお知らせ

2006年3月末日を割当基準日とし、その時点における所有株式数に応じて当社及び当社グループが運営する「ビッグエコー」または飲食店でご利用可能な優待券(1枚1,000円相当)をお配りいたします。

また、優待券をご利用できない場合は、優待券全額と引き換えを条件に当社レコード子会社・レーベル限定のCDとの交換が可能です。

※ 株主優待をお受けいただくには、株主名簿・実質株主名簿にお名前の記載または記録が必要となります。

優待券有効期間：2006年7月1日～2007年6月30日

100株以上	10枚
1,000株以上	25枚



# ECHO

**Vol.21** 第31期 決算のご報告  
2005年4月1日～2006年3月31日

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。このたび第31期(2005年4月1日~2006年3月31日)の営業が終了いたしましたのでご報告申し上げます。



代表取締役社長 米田 龍佳

## 【当期の概況】

当期のわが国経済は、原油価格の高騰や海外経済の不安材料はあったものの、大手企業の収益改善を背景に、設備投資や個人消費がけん引役となり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

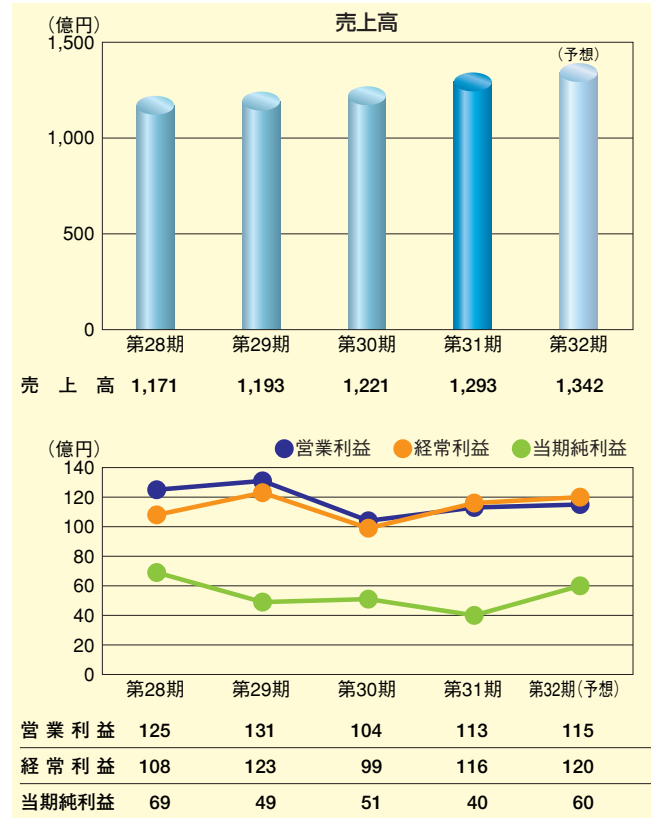
当カラオケ業界におきましては、スナック・クラブなどのナイト市場は未だ軟調であるものの、カラオケボックスなどのデイ市場では景気回復の兆しから大手カラオケボックス事業者を中心に収益改善が進むなど徐々に活気を取り戻しております。また、市場全体の通信カラオケ稼働台数は横ばいで推移するなか、カラオケ機器の新機種への更新期は継続しており、なかでも顧客ニーズの多様化に対応できるブロードバンド対応機種の需要が一層高まってきていることから、通信カラオケネットワークのブロードバンド化は着実に進行しております。

このようななか当社グループにおきましては、業務用カラオケ市場においてこれまで築き上げた20万端末を超える「DAMネットワーク」の更なる拡大に一層注力してまいりました。併せてこの「DAMネットワーク」を、ブロードバンド通信環境の下で「ゲートウェイネットワーク」として更に進化させ、カラオケと音楽と映像を基本とするエンタテインメントソフトや多彩なコンテンツソ

フトを機動的かつ柔軟に提供することにより、新たなソフトサービス収入を得るべく各事業へ積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当期の売上高は129,341百万円(前期比5.9%増)となりました。利益面におきましては、販売費及び一般管理費の一時的な支出のほか、カラオケ機器の出荷促進のための販売促進費やゲートウェイ事業の先行投資負担の増加はありましたが、主力事業である業務用カラオケ事業が着実に利益を確保したこと、また利益率の向上に取り組んだカラオケ・飲食店舗事業と収益改善に取り組んだ音楽ソフト事業が大幅に増益となったことから、営業利益は11,286百万円(同8.7%増)、経常利益は

## ■連結財務ハイライト



11,618百万円(同17.0%増)とそれぞれ増加いたしました。一方、特別損失において「固定資産の減損に係る会計基準」の適用により土地・建物等について1,220百万円、カラオケルーム店舗について1,273百万円の減損損失を計上して財務の健全化を図り、また繰延税金資産を取り崩し法人税等調整額が増加した結果、当期純利益は4,009百万円(同21.7%減)となりました。

## 【来期の見通し】

今後の経済環境につきましては、原油価格の高騰や金利上昇の懸念など不透明感が残るものの、景気は緩やかに回復基調を維持していくものと思われまます。

当社を取り巻く事業環境におきましては、カラオケメーカーの再編や淘汰が進行する一方で、通信のブロードバンド化や無線化、コンテンツのデジタル化、通信と放送の融合などの変化が加速していることから、新たなビジネスチャンスが広がっております。このため、今後はこれらの変化に対応した高品質な商品供給や付加価値の高いコンテンツ及びサービスの提供をよりスピー

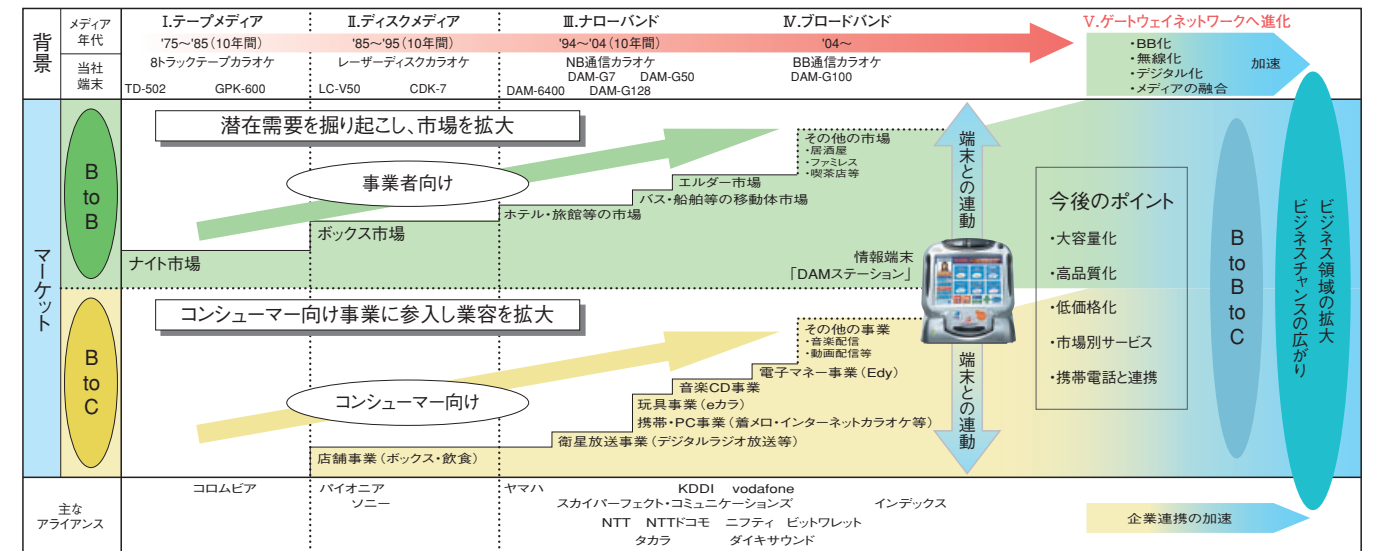
ディーに展開することが不可欠と予想されます。

このようななか、当社グループにおきましては、これまで業務用カラオケ事業で培ったBtoBビジネスを核とし、カラオケ・飲食店舗事業をはじめとするBtoCビジネスへ「ネットワーク」の裾野を拡大してまいりました。今後これら既存事業の深耕を図るとともに、新たなビジネス領域の拡大に向け、これまで築き上げた「ネットワーク」を「DAMステーション」を活用することで新たな「業務用ネットワーク」のスタンダードとして確立し、これをプラットフォームとしたカラオケと音楽と映像を基本とする、より高品質なエンタテインメントソフトや多彩なコンテンツソフトをあらゆるマーケットに向けて発信するBtoBtoCビジネスを積極的に展開し、業容の拡大と収益の増大を目指してまいります。

来期の業績につきましては売上高1,342億円、経常利益120億円、当期純利益60億円を計画しております。

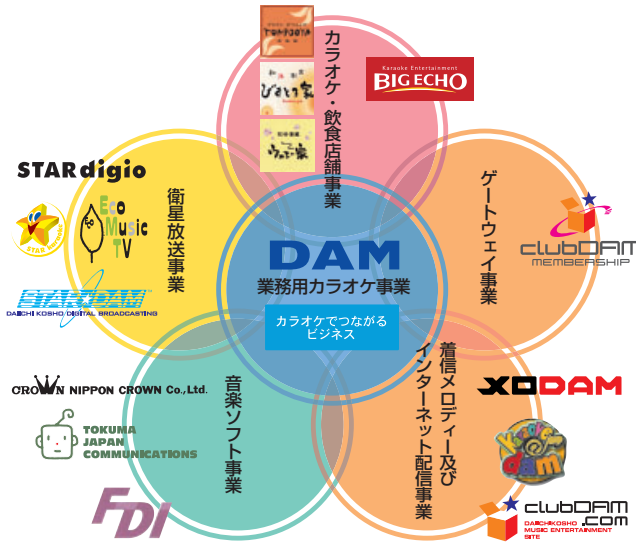
株主の皆様におかれましては、何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## ■技術革新からビジネス革新へ





～カラオケを中心としたエンタテインメントを提供～



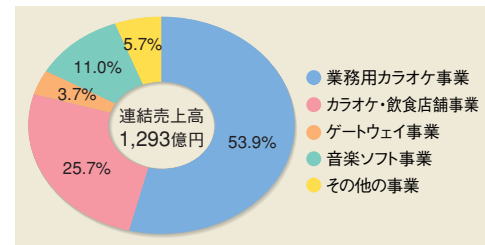
(2006年3月31日現在)

- **業務用カラオケ事業**  
業務用カラオケ機器・カラオケソフトの販売及び賃貸、並びに通信カラオケへの音源及び映像の提供を行っており、セグメントは業務用カラオケ事業に属しております。
- **カラオケ・飲食店舗事業**  
カラオケルーム「ビッグエコー」を215店舗(国内210店・海外5店)展開するほか、飲食店舗を48店舗(国内47店・海外1店)展開しており、セグメントはカラオケ・飲食店舗事業に属しております。
- **ゲートウェイ事業**  
「ブロードバンドサイバーDAM」と情報端末「DAMステーション」の融合によるブロードバンドを活用した双方向コンテンツサービスの提供などを行っており、セグメントはゲートウェイ事業に属しております。
- **着信メロディー及びインターネット配信事業**  
携帯電話向け着信メロディー配信を中心とした様々なコンテンツ配信サービスを行うほか、カラオケのインターネット配信サービスを行っており、セグメントはゲートウェイ事業に属しております。
- **音楽ソフト事業**  
音楽レコード会社2社及び販売会社1社並びに映像制作会社1社において音楽、映像ソフトの制作、販売を行っております。また、その他に音楽出版会社4社において著作権管理を行っており、セグメントは音楽ソフト事業に属しております。
- **衛星放送事業**  
衛星デジタル放送「スカイパーフェクTV!」をプラットフォームとし、テレビ2ch、ラジオ100chのサービスを行っており、セグメントはその他の事業に属しております。
- **その他の事業**  
主に不動産賃貸事業を行っており、セグメントはその他の事業に属しております。

当期より事業の種類別セグメントを下記のとおり変更し、各セグメント別の前期比較にあたっては、前期の実績を変更後の区分に組み替えて行っております。

1. 「その他の事業」に含めておりました飲食事業は従前の「カラオケルーム運営事業」と併せて「カラオケ・飲食店舗事業」に変更いたしました。
2. 「その他の事業」に含めておりました「ゲートウェイ事業」は、区分表示することといたしました。
3. 従来の「コンテンツ事業」におけるeビジネス事業は「ゲートウェイ事業」に統合することとし、衛星放送事業は「その他の事業」に含めて表示することといたしました。

■連結売上高構成比



■セグメント別売上高構成比

セグメント	業務用カラオケ事業	カラオケ・飲食店舗事業	ゲートウェイ事業	音楽ソフト事業	その他の事業
売上高(百万円)	69,672	33,307	4,780	14,261	7,319
営業利益(百万円)	11,250	3,206	△ 2,457	439	1,896

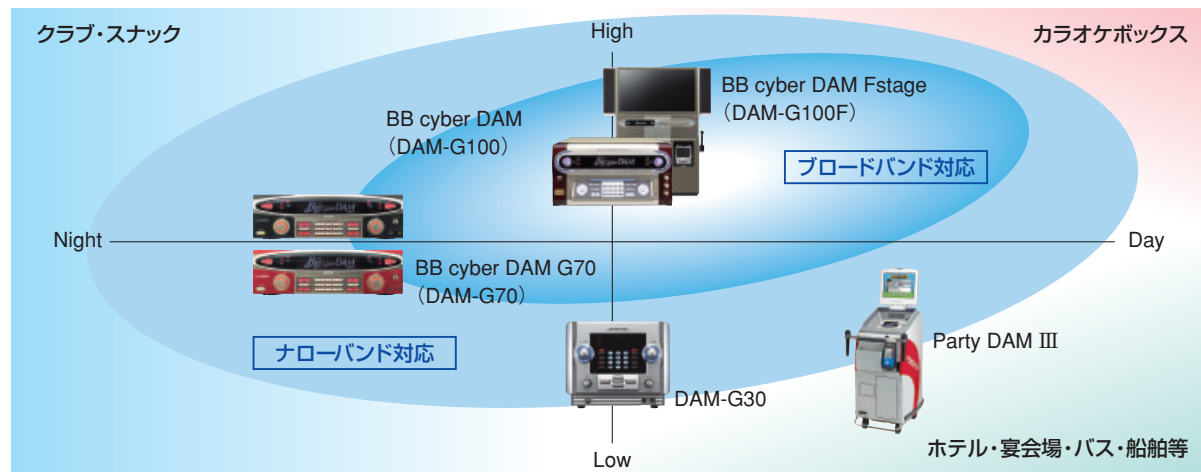
Highlights of the year

- 2005 4月**  
ビッグエコー全店に電子マネー“Edy”導入 国内211店舗(2005年4月末)  
Edyはビットワレット(株)が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- 7月**  
当社グループの音楽ソフト会社を整理・統合  
CROWN NIPPON CROWN Co.,Ltd.  
TOKUMA JAPAN COMMUNICATIONS  
FDI Tri-
- 10月**  
初の複合店舗を浜松町(東京都港区)にオープン  
● 浜松町駅前店  
4～8F ビッグエコー  
2～3F ウメ子の家
- 11月**  
ナイト市場向け通信カラオケシステム「cyber DAM G70 (DAM-G70)」発売
- 12月**  
日本最大級のカラオケイベント「全日本カラオケグランプリ2005」開催  
全国7ヶ所で予選を行い見事勝ち抜いた9名が決勝大会に進出し、栄えある第一回グランプリを決定いたしました。  
2005年12月11日 新宿コマ劇場にて
- 2006 1月**  
クラブダムメンバーシップ会員100万人突破  
DAMステーション稼働台数1.6万台超
- 3月**  
ビッグエコー八重洲本店に新業態店舗をオープン  
2～7F ビッグエコー  
1F アイリッシュパブ “CELTS(ケルツ)”  
B1F ライブレストラン “HIT STUDIO 60's”

業務用カラオケ事業

当事業におきましては、市場での商品の低価格化が徐々に進行しておりますが、当社はこれまで市場の特性に合わせた「DAM」シリーズを開発・供給して商品の差別化を図るほか、業界に先駆けてブロードバンド環境の特性を活かした「ブロードバンドサイバーDAM (DAM-G100)」と情報端末「DAMステーション」を連動させた新しいコンテンツサービスを展開することで市場の活性化に努めてまいりました。また、質の高い音源の制作や、アーティスト本人が出演する背景映像やライブ映像などカラオケコンテンツの差別化と充実化を図り、併せてユーザーニーズの高いアフターメンテナンス体制に注力してまいりました。更に当期においては、ナイト市場を中心に潜在的な買替需要やブロードバンド対応機種への入替需要が極めて大きいと予想し、オプションキットの有無によりナローバンド・ブロードバンド双方の通信環境で対応できる新商品「サイバーDAM G70 (DAM-G70)」を11月に発売いたしました。これらの継続した戦略的施策により、「DAM」ブランドは引き続き市場から高い評価を得ており、主力商品「DAM-G100」

■ 主な業務用カラオケ機器の市場別展開図



■ 売上高 69,672百万円 (前期比+1.4%)  
 ■ 営業利益 11,250百万円 (前期比△7.9%)

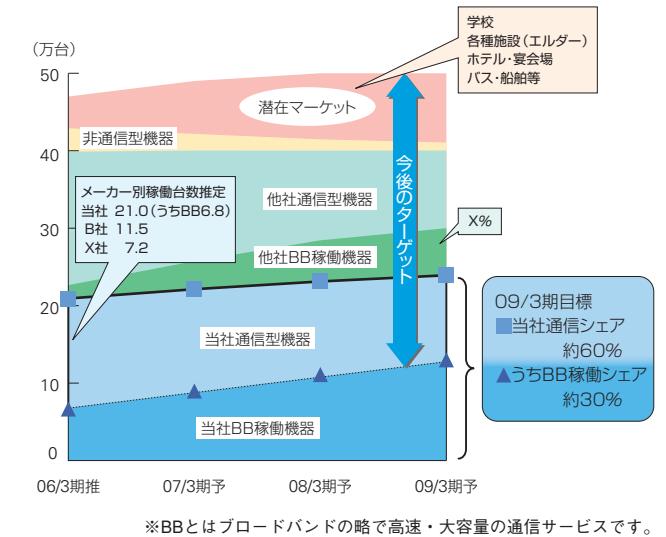
の25,477台を含む37,423台を出荷し、通信カラオケ機器の年間出荷台数としては過去最高を更新いたしました。一方、業務用カラオケ市場における通信カラオケの稼働台数は横ばいで推移するなか、ネットワークのブロードバンド化を更に進めるため「DAM-G100」を中心に拡販と旧機種からの入替を積極的に促進したことから、ブロードバンド稼働台数は前期末より18,580台増加して67,715台となり、また「DAM」全体の稼働台数も約21万台となったことからマーケットシェアも52%と着実に増加いたしました。

以上の結果、商品の低価格化や廉価商品「DAM-G30」の出荷により平均販売単価が低下したことから商品販売高は前期より減少いたしました。カラオケ機器賃貸契約やカラオケコンテンツ等の情報提供契約の累計契約件数が着実に増加していることから、当事業の売上高は前期比1.4%増加いたしました。一方、カラオケコンテンツの差別化に伴う費用の増加や通信カラオケ機器の出荷促進のための販売促進費の増加もあり営業利益は前期比7.9%の減少となりました。

● 来期の取り組み

当事業におきましては、今後も「DAM」ブランドの更なる価値向上を目指して、市場ニーズを敏感に先取りした「DAM」シリーズを開発・供給し、提供するカラオケコンテンツにおいても「DAMステーション」と連動したエンタテインメントコンテンツを一層充実させていくほか、業界最高水準の品質を誇る音源制作やハイビジョン対応の映像制作などコンテンツの差別化を図ってまいります。一方、業務用カラオケ機器の更新期は継続しており、依然として市場の7~8割程度のカラオケ機器がナローバンドで稼働していると考えられ、ブロードバンド対応機種への潜在的入替需要は極めて大きいことから、引き続き主力商品「DAM-G100」及び「DAM-G70」を中心に全方位での拡販と旧機種からの入替を進め、更なるシェアアップと通信カラオケネットワークのブロードバンド化を推進してまいります。

■ 業務用カラオケ機器稼働台数の推移 (当社推定)



新商品



2006年4月発売

～ナイト市場向け通信カラオケシステム「DAM-G70」に新カラー登場! 同時に「BB (ブロードバンド対応) キット」を発売～

■ ブロードバンド (BB) はココが違う!

- 映像数 : 本人出演映像など861タイトル増加 (1対1映像 2,001曲→2,862曲)
- 楽曲数 : モドレー楽曲約1,500曲増加
- 機能 : 情報端末「DAMステーション」との接続が可能となり様々なエンタテインメントコンテンツが楽しめます。

● 新カラーラインナップ



DAM-G70R (レッド)



DAM-G70B (ブラック)



カラオケ・飲食店舗事業

当事業におきましては、カラオケルームと飲食店の複合型店舗展開を本格的に開始いたしました。カラオケルーム「ビッグエコー」では不採算店舗21店を閉店するほか、飲食店舗との複合型店舗を含む26店舗(国内23店・海外3店)を新規出店し、また飲食店でも11ブランド22店舗の新規出店(国内21店・海外1店)と旧ブランド2店舗の閉店など積極的な店舗展開を実行いたしました。

この結果、当期末現在でビッグエコー215店舗(国内210店舗、海外5店舗)、飲食店においては15ブランドの48店舗(国内47店・海外1店)が稼働しております。またビッグエコーの既存店におきましては、家賃など固定費の削減に努めるほか、フロアの一部転貸を行うなど利益率の改善に注力いたしました。一方で、飲食店では既存ブランドである「ウメ子の家(和食)」「東風家(エスニック)」「びすとろ家(イタリアン・和食)」を中心に多店舗展開を

■売上高 33,307百万円(前期比 +10.9%)  
 ■営業利益 3,206百万円(前期比 +156.1%)

積極的に進めるとともに、新たなブランドとして「とり蔵(和食)」「はなはな(沖縄)」を加え収益の拡大に努めるほか、ライブレストラン「HIT STUDIO 60's」やアイリッシュパブ「CELTS(ケルツ)」をビッグエコーとの複合店として新規出店するなど、これまでの店舗展開とは異なった新業態開発にも積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、ビッグエコー及び飲食店の積極出店に伴う店舗数の増加や、複合型店舗展開による集客数の向上により当事業の売上高は前期比10.9%増加し、既存店の売上高も下半期後半より前年同月を上回って推移いたしました。また固定費の削減に積極的に取り組んだことから新店出店に伴う開業費用を吸収し、営業利益は前期比156.1%の大幅な増加となりました。

● 来期の取り組み

当事業におきましては、飲食店舗との複合型店舗展開が店舗の差別化や運営の効率化において確実に成果を上げていることから、今後も更なる店舗ブランドの向上を目指し、サービス・飲食の充実を図るとともに積極的な新規出店を進めてまいります。またライブレストランやアイリッシュパブに続く新業態店舗の開発を進め、更に「DAMステーション」を活用したエンタテインメント性に富んだコンテンツサービスや空間(スペース)の提供などにより店舗の付加価値向上を図り、顧客満足度を高めてカラオケ・飲食店舗事業における集客力の向上と業容の拡大を目指してまいります。

■ 今後の事業展開



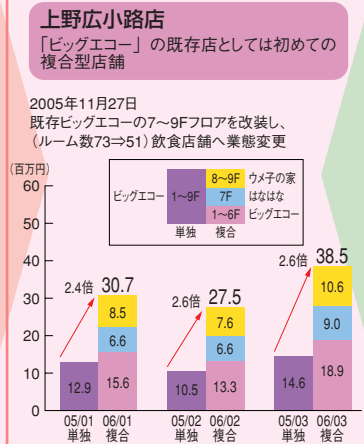
カラオケルーム

第一興商グループ11店舗目となる複合店を2006年4月、秋葉原にオープンいたしました。今後も、複合店舗を主力に積極出店を継続するとともに高級カラオケボックスの開発に着手し、カラオケボックス事業でのNo.1を目指してまいります。



● 複合化による成功事例

収益拡大



飲食店舗

第一興商グループは、現在、飲食店舗の多ブランド化に注力しており、「ウメ子の家 はなれ」「はなはな」「楽蔵」を含め15の飲食ブランドを展開しております。今後も、新規ブランドの開発を継続し、飲食店舗の業容の拡大を目指してまいります。

- 「海・大地・炎 楽蔵」  
鶏・牛・創作炙りメニューが中心の和風ダイニング  
秋葉原に第1号店をオープン!
- 「沖縄ダイニング はなはな」  
美ら海の恵みと泡盛で琉球の世界へ誘う沖縄ダイニング
- 「ウメ子の家 離(はなれ)」  
「はなれ」をモチーフにした洗練された空間で癒される和風ダイニング

新業態店舗

新たなコラボレーション店舗として2006年3月、ビッグエコー八重洲本店にアイリッシュパブとライブレストランをオープンいたしました。今後は、これら店舗の多店舗展開を目指すとともにエンタテインメント性を追求した新業態開発に注力してまいります。

● 1F: アイリッシュパブ「CELTS」(ケルツ)



ビールを中心にカクテルやウイスキーなどキャッシュオンで提供するアイリッシュスタイルのバー。  
 店内には巨大なスクリーンがありスポーツ観戦などをしながら気軽にお酒やフィッシュ&チップスなどフィンガーフードが楽しめます。

● B1F: ライブレストラン「HIT STUDIO 60's」



生バンドの演奏を聴きながら食事やドリンクが楽しめるライブレストラン。専属バンドが常駐し、60~70年代の誰もが知っているヒット曲を1日4ステージ演奏します。曜日によっては、ゲストとして著名なアーティストの出演や土・日は結婚式の二次会として貸切にできます。

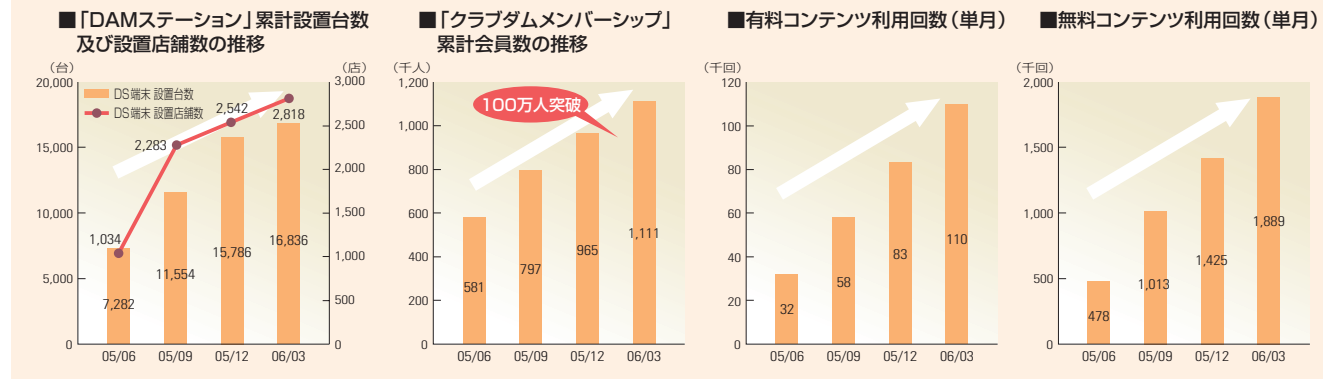
## ゲートウェイ事業

当事業におきましては、携帯電話向け着信メロディー等コンテンツ配信サービスを行うeビジネス事業と、情報端末「DAMステーション」及び「ブロードバンドサイバーDAM (DAM-G100)」の連動によるブロードバンドを活用したコンテンツの双方向サービスの提供を行うゲートウェイ事業を行っております。

eビジネス事業におきましては、市場における着信メロディーサービスの加入者数が減少傾向にあるなか、サービス内容の見直しを図り加入者数の維持に努めてまいりましたが、当社においても減少、減収となりました。

ゲートウェイ事業におきましては、情報端末「DAMステーション」の早期普及を図るため先行投資として同端末を積極的に市場投入するほか、エンタテインメントコンテンツと連動した新人アーティスト発掘番組「歌スタ!!」の放映や全国規模のイベント「全日本カラオケグランプリ2005」の開催など効果的な広告宣伝活動を実施いたしました。

この結果、サービスの認知度が高まり、当期末現在では約1万7千台の「DAMステーション」が稼働しており、端末を利用するユーザー会員組織「クラブダムメンバーシップ」においては累計加入者数が約111万人と大幅に増加するほか、通信カラオケ「DAM」



■売上高 4,780百万円 (前期比+0.2%)  
 ■営業利益 △2,457百万円 (前期増減額△1,701百万円)

の出荷とブロードバンドサービスの差別化に大きく寄りました。また、提供するコンテンツにおいては、「歌スタ!!」「歌唱検定」「ランキングバトル」などの人気カラオケコンテンツが順調に推移するほか、12月より提供を開始した懸賞クイズコンテンツ「キャンペーン生活!」が好調に推移するなど、コンテンツの利用回数は有料・無料を含め前期比14.6倍の約1,340万回となり、これに伴うコンテンツ収入も同様に14.1倍となるなど確実に実績を上げてまいりました。更に「DAMステーション」設置店舗においては、端末を効果的に活用したユニークな企画やイベントを積極的に開催し、集客と収入の増加に繋げた成功事例が現れるなど、今後の事業展開に向け新たな可能性と確かな手ごたえを掴むことができました。

以上の結果、eビジネス事業では加入者数の減少に伴い約1,000百万円の減収となりましたが、ゲートウェイ事業の着実な収入の増加がこれを補ったことから当事業の売上高は前期比0.2%の増加とほぼ横ばいとなりました。一方、ゲートウェイ事業の積極的な先行投資負担及び同事業における販売費及び一般管理費の増加から営業利益は△2,457百万円となりました。

## 来期の取り組み

当事業におきましては、「ゲートウェイネットワーク」の拡大に合わせ販売推進体制を強化し、情報端末「DAMステーション」を積極的に拡販してまいります。また、コンテンツの利用促進を図るため、今後も端末の利便性を向上させていくとともに、有力コンテンツの開発や調達をコンテンツホルダーとのアライアンスを含め強化してまいります。更に、業務用マー

ケットで様々な需要が期待されるオーダリングシステム、音楽・映像配信、eコマース等の機能の拡充など、今後も「DAMステーション」をプラットフォームとした魅力的なコンテンツやサービスをあらゆるマーケットやユーザーに向け提案し、ゲートウェイ事業の新たな可能性と需要の創出に積極的に取り組んでまいります。

### ■今後の展開

コンテンツ名	内容	開始(予定)時期	
音楽配信	カラオケCD直送便	カラオケで歌った曲をCDにして自宅に届けるサービス	2006年4月
ゲーム	スペースインベーダズpack	スペースインベーダーを題材にしたゲーム7種類	2006年4月
	ゲームはじめました!	気軽に遊べるミニゲーム5種類	2006年4月
ランキング	お店対抗ランキングバトル	店舗間同士で得点を競うランキングバトル	2006年4月
	恐怖!?全国健康ランキング!	体の気になるチェック項目に答え、診断結果を全国ランキングにて表示	2006年7月以降
映像	能力検定タッチDEポン!	右脳問題と左脳問題に答え、全国ランキングを競うサービス	2006年7月以降
	ポケモン企画	ポケモンキャラクターを起用したプリントサービスなど	2006年7月以降

## 「DAMステーション」連動企画

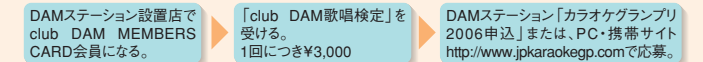
### ■「全日本カラオケグランプリ2006」

当社は、昨年行われた日本最大級のカラオケイベント「全日本カラオケグランプリ」を今年も開催いたします。全国8ヶ所で予選会を行い、各地方予選を勝ち抜いた27名が決勝大会へ進出し、2006年度のグランプリを決定いたします。決勝大会には著名な審査員やゲストなどを迎えてテレビ放映を予定しております。



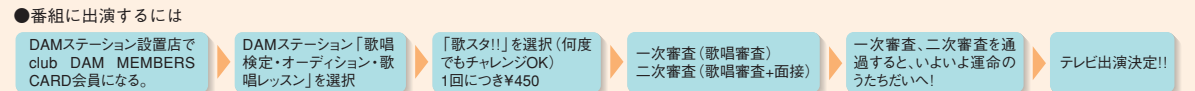
- 応募資格：1)2005年9月1日から各予選会締切45日前までに「club DAM歌唱検定」を1回以上受けた方 2)アマチュアの方(芸能プロダクションに所属していない方に限る)
- 応募期間：2005年11月1日から各予選会開催日の45日前
- 地方予選スケジュール：
 

9/30 (土) 中部・東海地区	10/21 (土) 中国地区
10/7 (土) 北海道地区	10/22 (日) 四国地区
10/9 (月) 東北地区	11/4 (土)・11/5 (日) 関東地区
10/14 (土) 九州地区	11/25 (土) 決勝大会
10/15 (日) 関西地区	
- お問合せ先：全日本カラオケグランプリ2006事務局 TEL 03-3224-3778  
 詳しくは<http://www.jpkaraokegp.com>をご覧ください。
- 応募方法



### ■歌スタ!!

「歌スタ!!」は、第一興商グループが提供する日本テレビ系列のシンガー発掘バラエティー番組です。スタジオには有名ヒットソングメーカー達(ハンター)が集結し、見事ハンターの目に留まると強力バックアップのもとデビューの扉が開かれます。年齢・性別は無関係で一般から広くメジャーアーティスト発掘に取り組んでおります。



すでに7名がデビュー





音楽ソフト事業

当事業におきましては、依然として音楽CD市場が縮小傾向にあるなか、経営基盤の強化と収益の改善を図るためレコード子会社を再編するとともに、これまで非連結子会社であった3社を新規に連結子会社といたしました。また、当期においては主力アーティストの商品が堅調に推移するなか、日本クラウン(株)の「Gackt」や(株)徳間ジャパンコミュニケーションズの「リュ・シウォン」などヒット作に恵まれ、更に音楽配信による着実な収

■売上高 14,261百万円(前期比+22.2%)  
 ■営業利益 439百万円(前期増減額+1,190百万円)

益の増加や、スタジオジブリの映像ソフト「ハウルの動く城」が売上高に大きく寄与いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は前期比22.2%増加となり、また返品率の改善による原価率の低減や販売費及び一般管理費の削減から営業利益は前期に比べ1,190百万円の大幅な改善となりました。

PICK UP アーティスト

レコード会社	レーベル	主なアーティスト
日本クラウン(株)	CROWN	北島三郎 美川憲一
	CROWN RECORDS	Gackt Ryu
	CROWN STONES	THE イナズマ戦隊
	CROWN GOLD	kimeru 河口恭吾
	PANAM	南こうせつ イルカ 小野真弓
	Argyie Records	阿川泰子
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ	JAPAN RECORD	吉 幾三 吉川晃司
	minorophone	千 昌夫 水森かおり
	GAUSS	松原のぶえ 松前ひろこ
	meldac	ZIGGY 浜田麻里
	S <sup>o</sup> Division	リュ・シウォン 堂島孝平

CROWN NIPPON CROWN Co.,Ltd.



●平季唯

日本テレビ系列「歌スタ!!」に出演し、見事メジャーデビュー。優しくあたたかい歌声で「桜風」を発売。今後の活躍に注目です。



CROWN NIPPON CROWN Co.,Ltd.



●河口恭吾

「桜」で大ブレイクした河口恭吾が日本クラウン(株)に移籍!CROWN GOLDレーベルより6月28日に移籍第1弾シングルを発売。



●Ryu Siwon (リュ・シウォン)

「永遠のプリンス」と呼ばれる韓国の人気俳優リュ・シウォン。昨年行われた日本武道館での初ライブは超満員! 2006年5月には2ndアルバム「ASIAN BLOW(エイジアン ブロー)」を発売し、更なる活躍に期待。



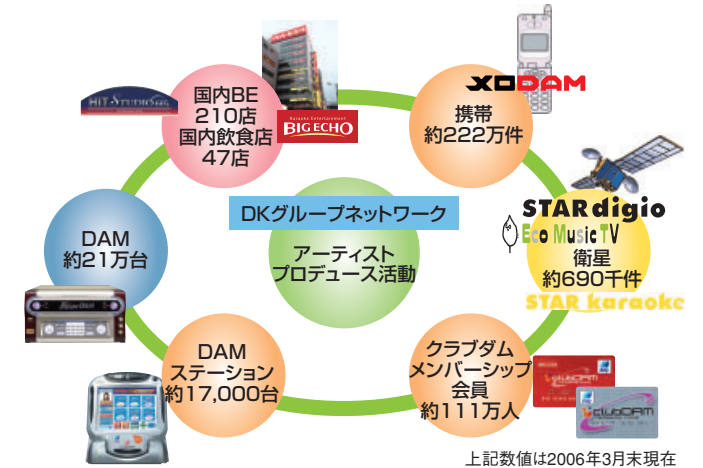
■音楽ソフト事業の紹介



●来期の取り組み

当事業におきましては、新人アーティストの発掘・育成及びヒット曲の創造に向け、「DAMステーション」や店舗事業で出店したライブレストランの活用など当社グループの総合力を活かしたプロデュース活動を積極的に展開してまいります。また子会社の整理統合を終えたことから、今後も更なる経営

■グループネットワークを活用したプロデュース活動



の効率化を目指し、効果的でめり張りのある販促活動を行う一方、原価低減のための返品率の改善に引き続き努めるとともに、収益性の高い音楽・映像配信にも注力することによって利益率の向上を目指してまいります。

その他の事業

当事業におきましては、「スカイパーフェクTV!」をプラットフォームとする衛星放送事業と不動産賃貸事業を含むその他の事業が主なものであります。衛星放送事業におきましては、業務用サービスの契約件数が横ばいで推移したものの、民生用サービスについては提供している番組のパックサービスを見直したことから契約件数が増加するほか、コスト削減の継続によって収

■売上高 7,319百万円(前期比+5.5%)  
 ■営業利益 1,896百万円(前期比+48.7%)

益改善が定着いたしました。また、不動産賃貸事業、パーキング事業、物販を含むその他の事業におきましても堅調に推移いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は前期比5.5%増加となり、販売費及び一般管理費の減少により営業利益は前期比48.7%の大幅な増加となりました。

連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科 目	第31期	第30期	対前期増減額
	2006年3月31日現在	2005年3月31日現在	
<b>資産の部</b>			
● 流動資産	49,965	48,913	1,052
● 固定資産	83,558	83,083	474
有形固定資産	47,638	48,252	△ 613
無形固定資産	7,950	8,665	△ 715
投資その他の資産	27,969	26,165	1,804
資産合計	133,524	131,996	1,527
<b>負債の部</b>			
● 流動負債	37,815	40,914	△ 3,098
● 固定負債	28,502	28,358	144
負債合計	66,318	69,272	△ 2,954
<b>少数株主持分</b>			
少数株主持分	764	528	236
<b>資本の部</b>			
資本金	12,350	12,350	-
資本剰余金	24,003	24,002	0
利益剰余金	32,029	30,050	1,978
土地再評価差額金	△ 845	△ 1,794	948
その他有価証券評価差額金	2,354	1,113	1,241
為替換算調整勘定	188	101	87
自己株式	△ 3,639	△ 3,629	△ 10
資本合計	66,440	62,194	4,246
負債、少数株主持分及び資本合計	133,524	131,996	1,527

**POINT ● 流動資産**

流動資産の増加1,052百万円は現金及び預金の増加1,637百万円、たな卸資産の増加839百万円並びに繰延税金資産の減少848百万円が主なものであります。

**POINT ● 固定資産**

固定資産の増加474百万円は投資有価証券の増加3,748百万円並びに土地の減少1,178百万円及び繰延税金資産の減少1,383百万円が主なものであります。

**POINT ● 流動負債**

流動負債の減少3,098百万円は、支払手形及び買掛金の減少2,409百万円、短期借入金の減少998百万円が主なものであります。

**POINT ● 固定負債**

固定負債の増加144百万円は、長期借入金の増加604百万円及び繰延税金負債の増加590百万円、並びに役員退職慰労引当金の減少805百万円が主なものであります。

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	第31期	第30期	対前期比 (%)
	2005年4月1日から2006年3月31日まで	2004年4月1日から2005年3月31日まで	
営業収益	129,341	122,085	105.9
営業費用	118,144	111,903	105.6
割賦販売未実現利益	89	202	
営業利益	11,286	10,383	108.7
営業外収益	2,184	1,743	
営業外費用	1,852	2,195	
経常利益	11,618	9,932	117.0
特別利益	599	1,150	
特別損失	4,107	4,583	
税金等調整前当期純利益	8,110	6,499	124.8
法人税、住民税及び事業税	2,062	1,342	
法人税等調整額	2,041	330	
少数株主利益	△ 3	△ 291	
当期純利益	4,009	5,118	78.3

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注記事項)	第31期	第30期
1. 有形固定資産の減価償却累計額	48,402百万円	47,971百万円
2. 保証債務	909百万円	919百万円
3. 担保提供資産	13,787百万円	15,020百万円
上記に対応する債務	11,567百万円	13,487百万円
4. 1株当たり当期純利益	112円60銭	139円83銭
5. 1株当たり株主資本	1,906円58銭	1,783円56銭

**POINT ● 営業損益**

カラオケ事業を核として積極的に各事業に取り組んだ結果、営業収益は前期比105.9%、129,341百万円となりました。また、利益面におきましては、販売費及び一般管理費の一時的な支出のほか、カラオケ機器の出荷促進のための販売促進費やゲートウェイ事業の先行投資負担の増加はありましたが、業務用カラオケ事業が着実に利益を確保したことやカラオケ・飲食店舗事業と音楽ソフト事業が大幅に増益となったことから、営業利益は108.7%、11,286百万円となりました。

**POINT ● 当期純利益**

特別損失において、「固定資産の減損に係る会計基準」の適用により土地・建物等について1,220百万円、カラオケルーム店舗について1,273百万円の減損損失を計上して財務の健全化を図り、また繰延税金資産を取り崩し法人税等調整額が増加した結果、当期純利益は前期比78.3%、4,009百万円となりました。

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 連結決算概要

### 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	第31期	第30期
	2005年4月1日から 2006年3月31日まで	2004年4月1日から 2005年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,081	24,221
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,808	△10,999
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,018	△11,106
現金及び現金同等物に係る換算差額	141	11
現金及び現金同等物の増加額	395	2,127
現金及び現金同等物の期首残高	22,428	20,300
新規連結子会社の増加に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,398	—
現金及び現金同等物の期末残高	24,222	22,428

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	第31期	第30期
	2005年4月1日から 2006年3月31日まで	2004年4月1日から 2005年3月31日まで
<b>資本剰余金の部</b>		
資本剰余金期首残高	24,002	24,001
転換社債の転換	—	0
自己株式処分差益	0	0
資本剰余金期末残高	24,003	24,002
<b>利益剰余金の部</b>		
利益剰余金期首残高	30,050	29,716
利益剰余金増加高		
当期純利益	4,009	5,118
連結子会社増加に伴う増加高	414	—
計	4,424	5,118
利益剰余金減少高		
配当金	1,392	682
役員賞与	104	134
土地再評価差額金取崩額	948	3,966
計	2,445	4,783
利益剰余金期末残高	32,029	30,050

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### POINT

##### ● 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・税金等調整前当期純利益 8,110百万円
- ・減価償却実施額 15,783百万円

#### POINT

##### ● 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・有形固定資産の取得による支出 14,628百万円
- ・無形固定資産の取得による支出 4,766百万円

#### POINT

##### ● 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・長期借入による収入 15,322百万円
- ・長期借入金の返済による支出 13,330百万円
- ・短期借入金の純増減額による支出 2,606百万円

## 単体決算概要

### 貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科 目	第31期	第30期	対前期増減額
	2006年3月31日現在	2005年3月31日現在	
<b>資産の部</b>			
流動資産	27,486	27,601	△ 115
固定資産	55,144	52,510	2,633
有形固定資産	19,783	19,659	124
無形固定資産	7,327	8,067	△ 739
投資その他の資産	28,033	24,784	3,248
資産合計	82,630	80,112	2,517
<b>負債の部</b>			
流動負債	16,912	17,667	△ 754
固定負債	12,547	11,424	1,123
負債合計	29,460	29,091	369
<b>資本の部</b>			
資本金	12,350	12,350	—
資本剰余金	24,003	24,002	0
利益剰余金	18,959	18,982	△ 22
土地再評価差額金	△ 845	△ 1,794	948
その他有価証券評価差額金	2,342	1,109	1,232
自己株式	△ 3,639	△ 3,629	△ 10
資本合計	53,169	51,021	2,148
負債・資本合計	82,630	80,112	2,517

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	第31期	第30期	対前期比(%)
	2005年4月1日から 2006年3月31日まで	2004年4月1日から 2005年3月31日まで	
営業収益	87,537	82,862	105.6
営業費用	81,158	76,506	106.1
割賦販売未実現利益	39	91	
営業利益	6,418	6,447	99.5
営業外収益	1,105	1,074	
営業外費用	787	1,031	
経常利益	6,735	6,490	103.8
特別利益	540	1,164	
特別損失	2,915	3,308	
税引前当期純利益	4,361	4,345	100.4
法人税、住民税及び事業税	128	112	
法人税等調整額	1,899	294	
当期純利益	2,333	3,939	59.2
前期繰越利益	971	408	
土地再評価差額金取崩額	△ 948	△ 3,966	
当期末処分利益	2,356	380	

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 利益処分

(単位：百万円)

科 目	第31期	第30期
	2005年4月1日から 2006年3月31日まで	2004年4月1日から 2005年3月31日まで
当期末処分利益	2,356	380
別途積立金取崩額	—	2,000
合計	2,356	2,380
これを次のとおり処分いたしました。		
利益配当金	1,044	1,392
(1株につき30円)	(1株につき40円)	
役員賞与金	20	16
(うち監査役賞与金)	( 2)	( 1)
合計	1,064	1,408
次期繰越利益	1,292	971

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- (注記事項)
- |                   | 第31期      | 第30期      |
|-------------------|-----------|-----------|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額 | 22,957百万円 | 22,058百万円 |
| 2. 1株当たり当期純利益     | 66円48銭    | 109円74銭   |
| 3. 1株当たり株主資本      | 1,527円27銭 | 1,465円47銭 |

※第30期(2005年3月期)期末配当金の内訳は、普通配当20円、第30期記念配当20円であり、ます。

## 株式の状況 (2006年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数 100,000,000株  
 発行済株式の総数 36,621,298株  
 株主数 8,375名

### ● 株式の分割 (無償交付) に関するお知らせ

2006年6月30日最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主様の所有普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたします。

また、この分割に伴い、2006年7月1日をもって当社定款を変更し、発行可能株式総数を100,000,000株増加いたします。

### 【分割後の株式数】

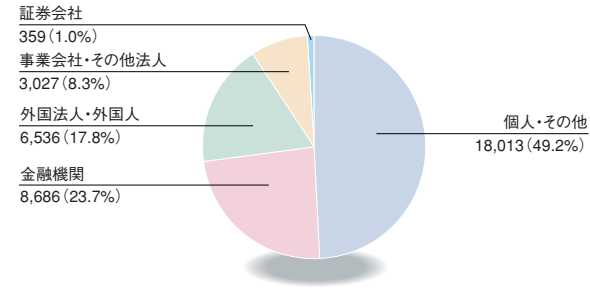
発行可能株式総数 200,000,000株  
 発行済株式総数 73,242,596株

## 大株主

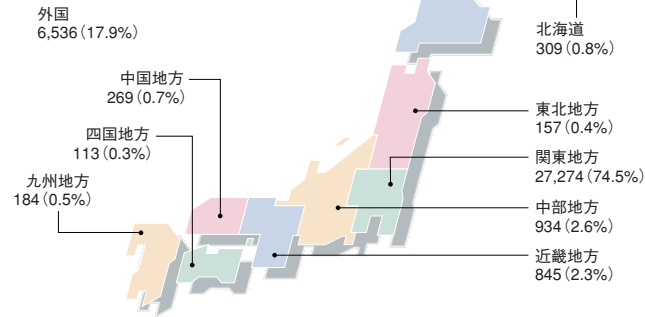
株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
保志忠彦	5,222	15.0
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	3,005	8.6
日本マスタートラスト信託銀行(株)	2,380	6.8
(有)ホシ・クリエート	2,157	6.2
バンクオブニューヨークヨーロッパ リミテッドルクセンブルグ131800	1,784	5.1
保志忠郊	1,534	4.4
保志治紀	1,510	4.3
三菱UFJ信託銀行(株)	984	2.8
米田龍佳	696	2.0
ザチェアスマンハッタンバンクエヌエイ ロンドンエスエルオムニバスアカウント	554	1.6

1. 当社は、自己株式1,820千株を保有しておりますが、議決権がないため上記株主から除いております。
2. 持株数、議決権比率は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

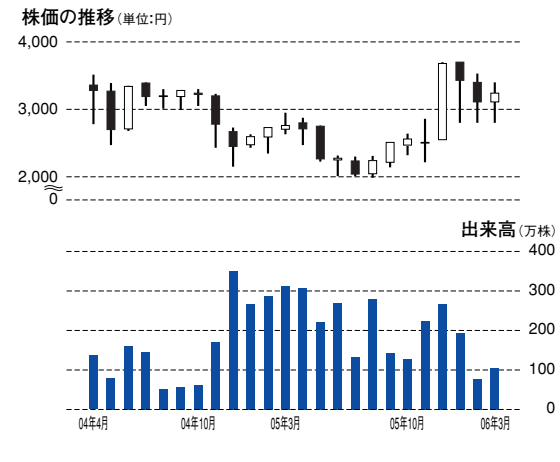
### ● 所有者別株式分布 (単位:千株/構成比)



### ● 地域別株式分布 (単位:千株/構成比)



### ■ 株価(月足)チャート



## 会社概要 (2006年3月31日現在)

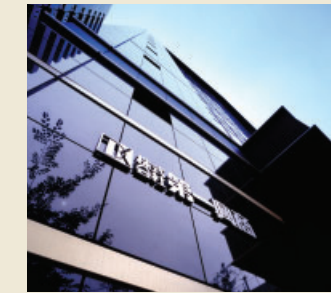
商号 株式会社 第一興商  
 (英文表記) DAIICHIKOSHO CO., LTD.  
 所在地 〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26  
 TEL.(03)3280-2151 (大代表)  
 設立 1973年4月16日  
 資本金 12,350百万円  
 従業員数 当社 1,308名  
 グループ 3,125名  
 JASDAQ上場 1995年9月19日  
 ホームページアドレス <http://www.dkkaraoke.co.jp/>

## 役員 (2006年6月24日現在)

代表取締役社長	米田龍佳
常務取締役 兼 取締役	林三郎
常務取締役 兼 取締役	緑川智博
常務取締役 兼 取締役	畑英爾
常務取締役 兼 取締役	根本賢一
常務取締役 兼 取締役	山本裕治
取締役 兼 取締役	熊谷達也
取締役 兼 取締役	村井裕一
取締役 兼 取締役	和田康孝
常勤監査役	掛川洋行
常勤監査役	高瀬信謙
監査役	田村真澄
執行役員	有馬伸治
執行役員	鈴木康之
執行役員	貞末俊一
執行役員	有馬修彰
執行役員	三宅彰
執行役員	黒川憲太郎
執行役員	大久保嘉英
執行役員	保志忠郊

## 第一興商グループ 当社及び連結子会社 47 社

(2006年3月31日現在)



### 主な事業内容

- 業務用カラオケ事業
- カラオケ・飲食店舗事業
- ゲートウェイ事業
- 音楽ソフト事業

### ■ 国内販売子会社 26社

(株)北海道第一興商	(株)埼玉第一興商	(株)東海第一興商
(株)釧路第一興商	(株)城北第一興商	(株)北陸第一興商
(株)道南第一興商	(株)台東第一興商	(株)京都第一興商
(株)北東北第一興商	(株)城東第一興商	(株)第一興商近畿
(株)東北第一興商	(株)城西第一興商	(株)京阪第一興商
(株)福島第一興商	(株)湘南第一興商	(株)兵庫第一興商
(株)常磐第一興商	(株)新潟第一興商	(株)九州第一興商
(株)群馬第一興商	(株)長野第一興商	(株)沖縄第一興商
(株)栃木第一興商	(株)静岡第一興商	

### ■ その他国内子会社 10社

(株)ディーケーファイナンス	(株)ディーケー音楽出版
日本クラウン(株)	ユニオン映画(株)
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ	(株)クラウンミュージック
(株)ファーストディストリビューション	(株)ズームリパブリック
(株)トライエム	丸萩洋酒工業(株)

### ■ 海外子会社 11社

(株)韓国第一興商	北京必愛歌餐飲顧問有限公司
第一興商(上海)電子有限公司	第一興商(北京)音楽文化有限公司
上海必愛歌音楽餐飲有限公司	Saha Daiichi Kosho Co.,Ltd.
上海星歌音楽餐飲有限公司	D.K.Enterprises(Guam),Inc.
上海申歌音楽餐飲有限公司	Daiichi Kosho(Singapore)Pte Ltd.
上海第一興商餐飲有限公司	

- (注) 1. Daiichi Kosho(Singapore)Pte Ltd.は休眠会社であります。  
 2. 上海星歌音楽餐飲有限公司は2005年3月に、上海申歌音楽餐飲有限公司及び第一興商(北京)音楽文化有限公司は2005年8月に、北京必愛歌餐飲顧問有限公司は2005年11月に、上海第一興商餐飲有限公司は2006年3月に新設いたしました。  
 3. 非連結子会社でありましたユニオン映画(株)、(株)クラウンミュージック及び(株)ズームリパブリックは当期より連結の範囲に含めております。  
 4. (株)徳間ジャパンコミュニケーションズ(存続会社)と(株)ガウスエンタテインメントは2005年7月に合併し、(株)ガウスエンタテインメントは解散いたしました。  
 5. 2005年4月に子会社の再編を行い、(株)北東北第一興商、(株)福島第一興商、(株)栃木第一興商、(株)北陸第一興商及び(株)沖縄第一興商を新設いたしました。  
 6. 上海綜藝音楽餐飲有限公司は、2005年8月に解散いたしました。